

# 2019年度 通期決算

2020年5月29日

富士電機株式会社

## 需要減、為替影響等により減収減益

(単位:億円)

	2018年度	2019年度	増減
売上高	9,149	9,006	-143
営業損益 (営業利益率)	600 (6.6%)	425 (4.7%)	-175 (-1.8%)
経常損益	635	445	-190
特別損益	-12	-7	5
税金等調整前 当期純損益	623	439	-184
法人税等	172	120	-52
非支配株主に帰属する 当期純損益	48	31	-17
親会社株主に帰属する 当期純損益	403	288	-115

(平均為替レート)

(単位:円)

US\$	110.91	108.74	-2.17
EURO	128.41	120.82	-7.59
RMB	16.54	15.60	-0.94

(期末レート差:前期末→当期末)

(単位:円)

US\$	106.24→110.99	110.99→108.83	-6.91
EURO	130.52→124.56	124.56→119.55	0.95
RMB	16.92→16.47	16.47→15.31	-0.71

### 売上高増減

海外子会社の為替換算差による減収	-64
需要減	-79

### 営業損益増減

物量・生産減	-83
固定費増	-38
為替影響	-25
その他	-29
	-175

### 営業外損益増減

金融収支	-3	( 17 → 14 )
為替差損益	-14	( 1 → -13 )
その他	2	( 17 → 19 )
	-15	( 35 → 20 )

### 特別損益増減

投資有価証券売却益	15	( 11 → 25 )
投資有価証券評価損	-12	( -3 → -15 )
子会社清算に伴う 為替換算調整勘定取崩益	-13	( 13 → 0 )
減損損失	22	( -22 → 0 )
その他	-7	( -10 → -17 )
	5	-12 -7

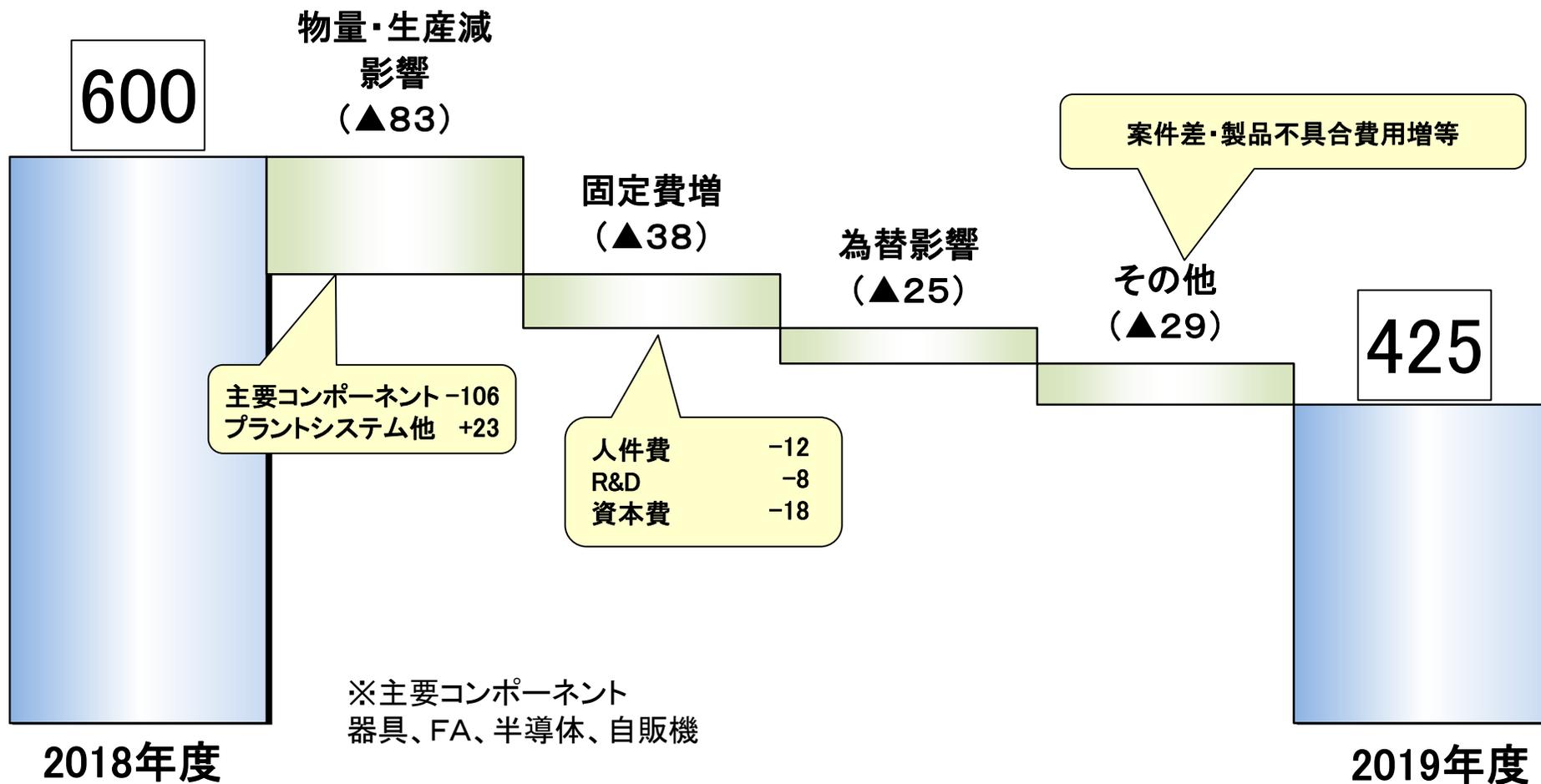
2019年度下期 連結子会社計73社(72社→73社)

新規連結: Fuji Electric Consul Neowatt Pvt. Ltd. (略称: FCN)

# 2019年度通期 営業損益増減分析(対前年)

物量・生産減及び為替影響、先行投資及び製品不具合費用増により減益

(単位:億円)



## 電子デバイスと発電プラントで増収 全セグメントで減益

(単位:億円)

	2018年度		2019年度		増減	
	売上高	営業損益	売上高	営業損益	売上高	営業損益
パワエレシステム エネルギー	2,241	168	2,180	123	-61	-45
パワエレシステム インダストリー	3,225	194	3,175	165	-50	-29
電子デバイス	1,373	156	1,374	97	1	-59
食品流通	1,136	58	1,044	38	-92	-19
発電プラント	1,070	48	1,099	23	29	-25
その他	622	28	608	27	-14	-1
消去または全社	-519	-52	-475	-49	44	3
合計	9,149	600	9,006	425	-143	-175

※2018年度実績は、2019年度の事業組替を反映し、表示しています。

# 2019年度通期 セグメント別業績概況(対前年) ①

(単位:億円)

			2018年度	2019年度	増減	概況
パワーエレクトロニクスシステム	エネルギー	売上高	2,241	2,180	-61	<b>エネルギーマネジメント</b> 産業及び鉄道向け電源機器の需要が堅調に推移したものの、スマートメータの需要減少及び前期の海外電力向け大口案件の影響等により減収減益。
		営業損益	168	123	-45	<b>施設・電源システム</b> 前期の国内大口案件が影響したものの、盤事業の海外大口案件の増加等により増収増益。
	インダストリー	売上高	3,225	3,175	-50	<b>オートメーション</b> 米中貿易摩擦影響により国内及び中国市場を中心に低圧インバータ、FAコンポーネント等の需要が減少したことに加え、新型コロナウイルス感染症の影響による中国拠点の稼働停止やアジア、欧米拠点の需要減少により減収減益。
		営業損益	194	165	-29	<b>社会ソリューション</b> 前期の鉄道車両用電機品の大口案件影響を主因として減収も、原価低減等の推進により増益。
					-7	<b>設備工事</b> 前期の大口案件影響を主因として減収も、原価低減等の推進により増益。
						<b>ITソリューション</b> 民需分野・文教分野の大口案件の増加により増収増益。

為替影響

# 2019年度通期 セグメント別業績概況(対前年) ②

(単位:億円)

		2018年度	2019年度	増減	概況																								
電子デバイス	売上高	1,373	1,374	1	半導体は電気自動車(xEV)向けパワー半導体の需要は増加したものの、米中貿易摩擦及び新型コロナウイルス感染症の影響による中国市場を中心とした産業分野向けの需要減少ならびに為替影響等により減収。生産能力増強等に係る先行投資による費用増及び為替影響、製品修理費等により減益。 ディスク媒体はデータセンター向け需要増、原価低減等により増収増益。																								
	営業損益	156	97	-59																									
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>電子デバイス 売上高内訳</th> <th>2018年度</th> <th>2019年度</th> <th>半導体 分野別売上高構成比</th> <th>2018年度</th> <th>2019年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>半導体</td> <td>1,118</td> <td>1,109</td> <td>産業モジュール</td> <td>49%</td> <td>45%</td> </tr> <tr> <td>ディスク媒体</td> <td>255</td> <td>265</td> <td>産業ディスクリート</td> <td>22%</td> <td>20%</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>自動車</td> <td>29%</td> <td>35%</td> </tr> </tbody> </table>			電子デバイス 売上高内訳	2018年度	2019年度	半導体 分野別売上高構成比	2018年度	2019年度	半導体	1,118	1,109	産業モジュール	49%	45%	ディスク媒体	255	265	産業ディスクリート	22%	20%				自動車	29%	35%	
電子デバイス 売上高内訳	2018年度	2019年度	半導体 分野別売上高構成比	2018年度	2019年度																								
半導体	1,118	1,109	産業モジュール	49%	45%																								
ディスク媒体	255	265	産業ディスクリート	22%	20%																								
			自動車	29%	35%																								
食品流通	売上高	1,136	1,044	-92	<b>自販機</b> 国内及び中国市場の需要減少に加え、新型コロナウイルス感染症の影響により国内及び中国の顧客設置計画が延伸し減収減益。  <b>店舗流通</b> 新型コロナウイルス感染症の影響により、コンビニエンスストア向け店舗設備機器等の需要が減少し減収も、原価低減等の推進により増益。																								
	営業損益	58	38	-19																									
発電プラント	売上高	1,070	1,099	29	太陽光発電システムの大口案件が減少したものの、火力発電設備の大口案件を主因に増収。営業損益は案件差ならびに海外大口案件の費用増等により減益。																								
	営業損益	48	23	-25																									

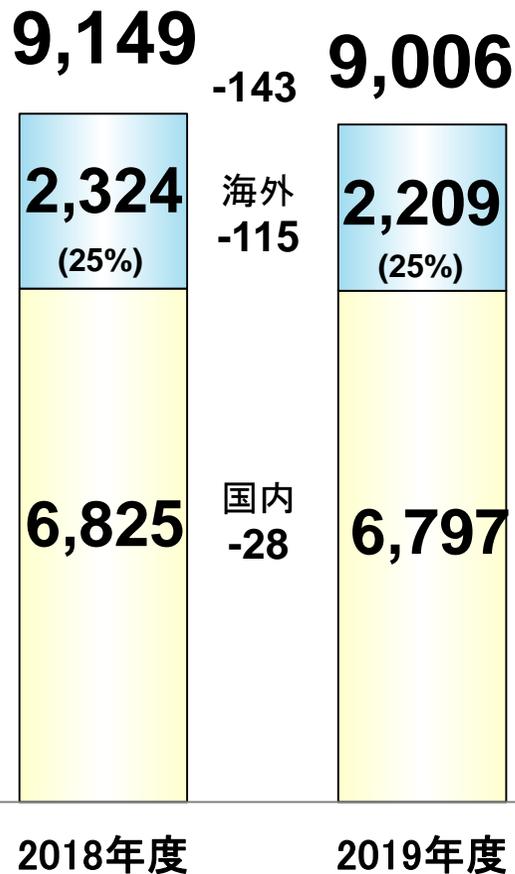
為替影響

# 2019年度通期 売上高〔国内/海外・地域別〕(対前年)

## 海外売上高は中国向けが大幅に減収

(単位:億円)

( )内は海外売上高比率



(単位:億円)

	2018年度	2019年度	増減
海外	2,324	2,209	-64 (-115)
アジア他	1,217	1,246	29
中国	784	626	-157
欧州	165	190	25
米州	158	147	-12

施設・電源システム +112  
エネルギーマネジメント -50  
オートメーション -16  
器具 -7

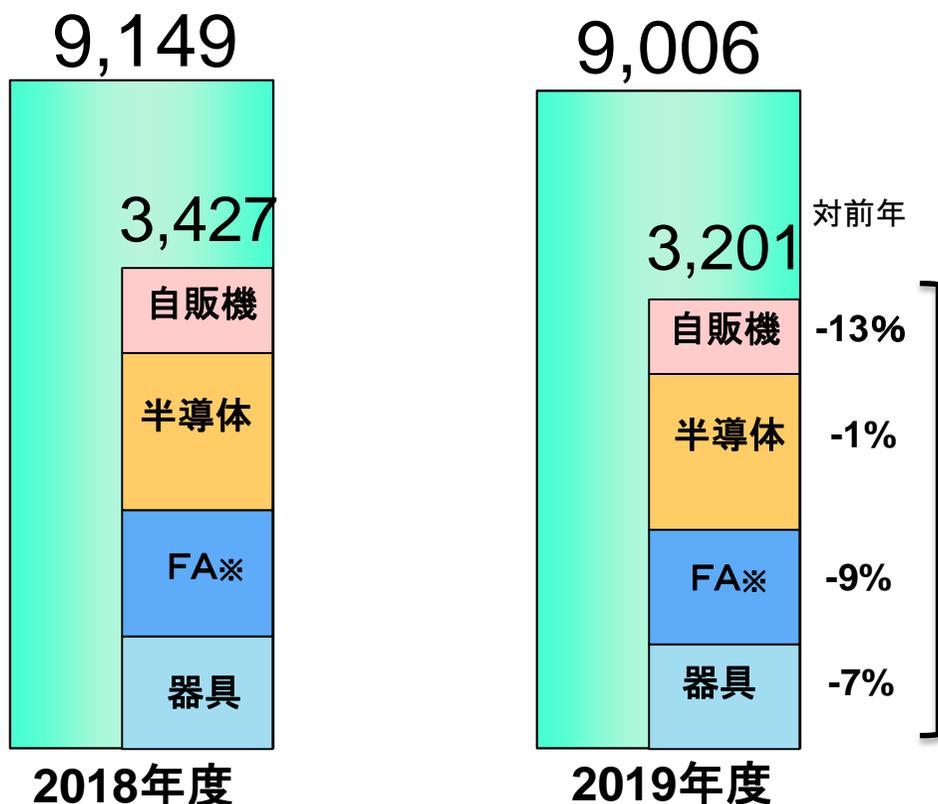
自販機 -45  
半導体 -40  
オートメーション -37  
施設・電源システム -16  
器具 -14

半導体 +22

エネルギーマネジメント +10  
社会ソリューション -11  
発電プラント -9

主要コンポーネントの需要減を主因として減収

(単位:億円)



売上高増減内訳(対前年)

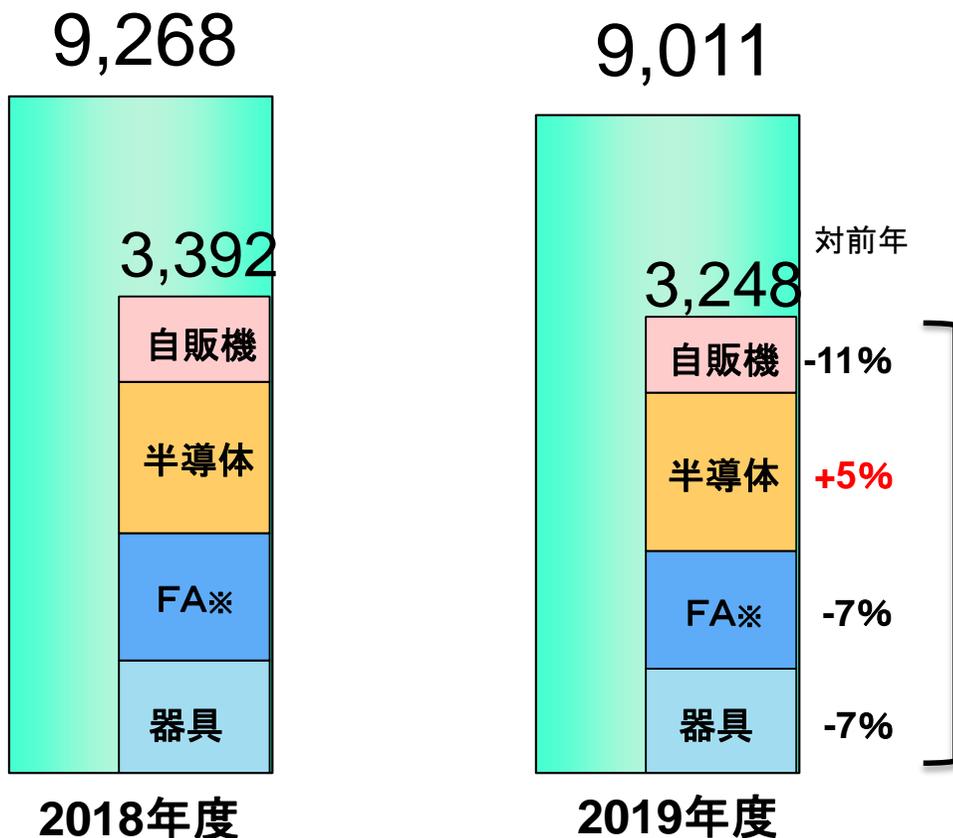
主要コンポーネント	-227
プラントシステム他	+84
<b>合計</b>	<b>-143</b>

主要コンポーネント

※FA: 低圧インバータ、回転機、FAコンポーネント、計測機器

半導体は対前年受注増  
プラントシステムは大口案件影響及びコロナ影響により受注減

(単位:億円)



受注高増減内訳(対前年)

主要コンポーネント	-143
プラントシステム他	-113
	-256

主要コンポーネント

※FA: 低圧インバータ、回転機、FAコンポーネント、計測機器

## 新型コロナウイルス感染症による需要減・生産減等により減収減益

(単位:億円)

	2019年度		増減
	予想 (1/30)	実績	
売上高	9,150	9,006	-144
営業損益	500	425	-75
経常損益	516	445	-71
親会社株主に帰属する 当期純損益	330	288	-42

### 売上高増減

海外子会社の為替換算差による増収	18
需要減	-162

### 営業損益増減

物量・生産減	-80
固定費減	49
為替影響	4
その他	-49

(単位:億円)

	2019年度				増減	
	予想 (1/30)		実績			
	売上高	営業損益	売上高	営業損益		
パワエレシステム エネルギー	2,170	138	2,180	123	10	-15
パワエレシステム インダストリー	3,370	194	3,175	165	-195	-29
電子デバイス	1,360	116	1,374	97	14	-19
食品流通	1,120	58	1,044	38	-76	-20
発電プラント	1,160	43	1,099	23	-61	-20
その他	600	24	608	27	8	3
消去または全社	-630	-73	-475	-49	155	24
合計	9,150	500	9,006	425	-144	-75

## 有事への対応により現預金増、成長投資による固定資産増

(単位:億円)

資産の部	19/3/31	20/3/31	増減
現金及び預金	293	641	348
売上債権	3,088	2,945	-143
棚卸資産	1,770	1,881	111
その他	580	490	-90
流動資産 計	5,731	5,957	226
有形固定資産	1,821	2,019	198
無形固定資産	178	246	68
投資その他の資産	1,794	1,745	-49
固定資産 計	3,794	4,010	216
繰延資産	2	1	-0
資産 合計	9,527	9,968	442
ROA	4%	3%	-1%
ROE	12%	8%	-4%
ネット有利子負債※1	1,249	1,536	288
ネットD/Eレシオ※2	0.4倍	0.4倍	0.1倍
自己資本比率	37.0%	36.7%	-0.4%

負債、純資産の部	19/3/31	20/3/31	増減
買入債務	1,967	1,799	-168
有利子負債	1,540	2,174	634
その他負債	2,099	1,935	-164
負債 合計	5,606	5,908	302
資本金	476	476	—
資本剰余金	461	459	-1
利益剰余金	2,239	2,413	174
自己株式	-73	-73	-0
株主資本	3,103	3,275	172
その他の包括利益累計額	426	381	-45
非支配株主持分	391	404	12
純資産 合計	3,921	4,060	139
負債・純資産 合計	9,527	9,968	442

※1 ネット有利子負債：有利子負債-現金及び現金同等物

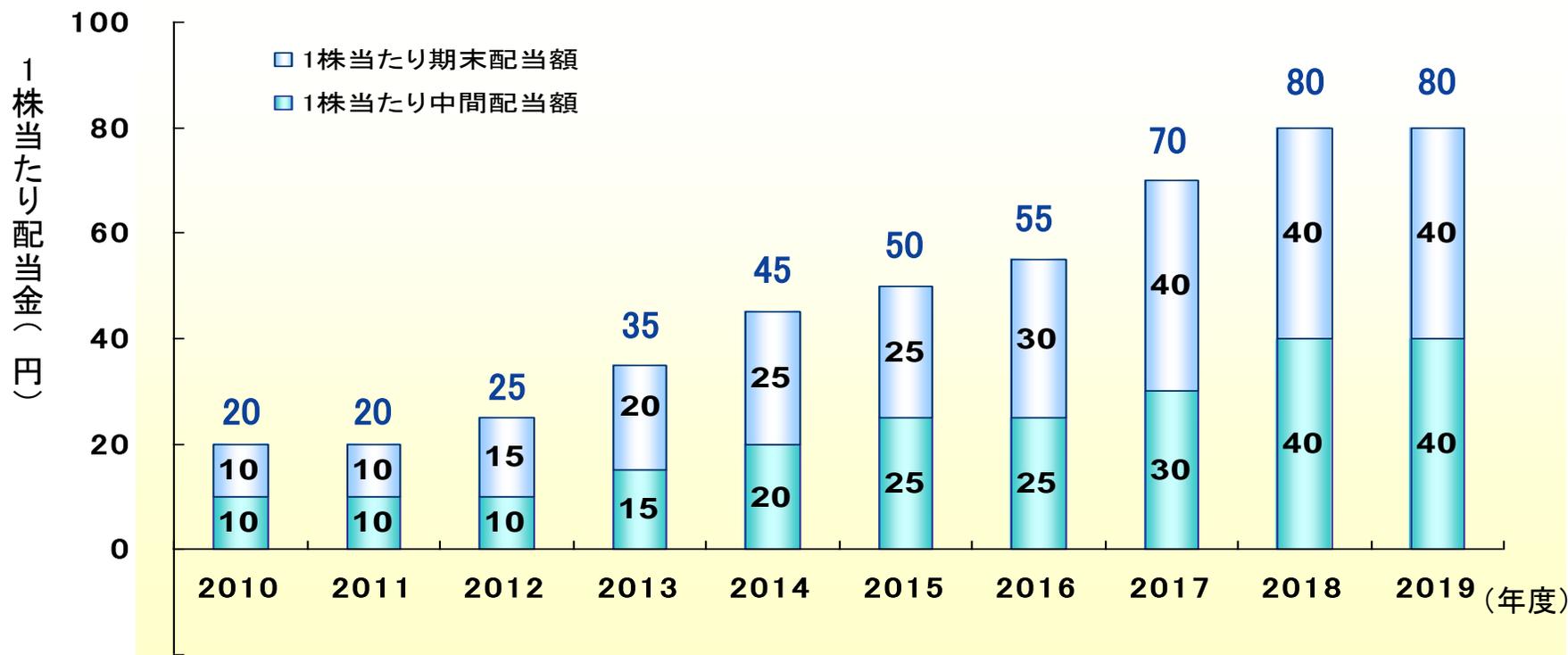
※2 ネットD/Eレシオ：ネット有利子負債 ÷ 自己資本

(単位:億円)

	2018年度	2019年度
I 営業活動によるキャッシュフロー	549	461
II 投資活動によるキャッシュフロー	-214	-276
I + II フリー・キャッシュ・フロー (FCF)	335	185
III 財務活動によるキャッシュフロー	-382	169
IV 現金及び現金同等物の期末残高	291	637

# 剰余金の配当

中長期的な観点から安定的、継続的に行うことを基本とし、連結業績、研究開発や設備投資計画、今後の経済環境などを勘案し、配当金額を決定

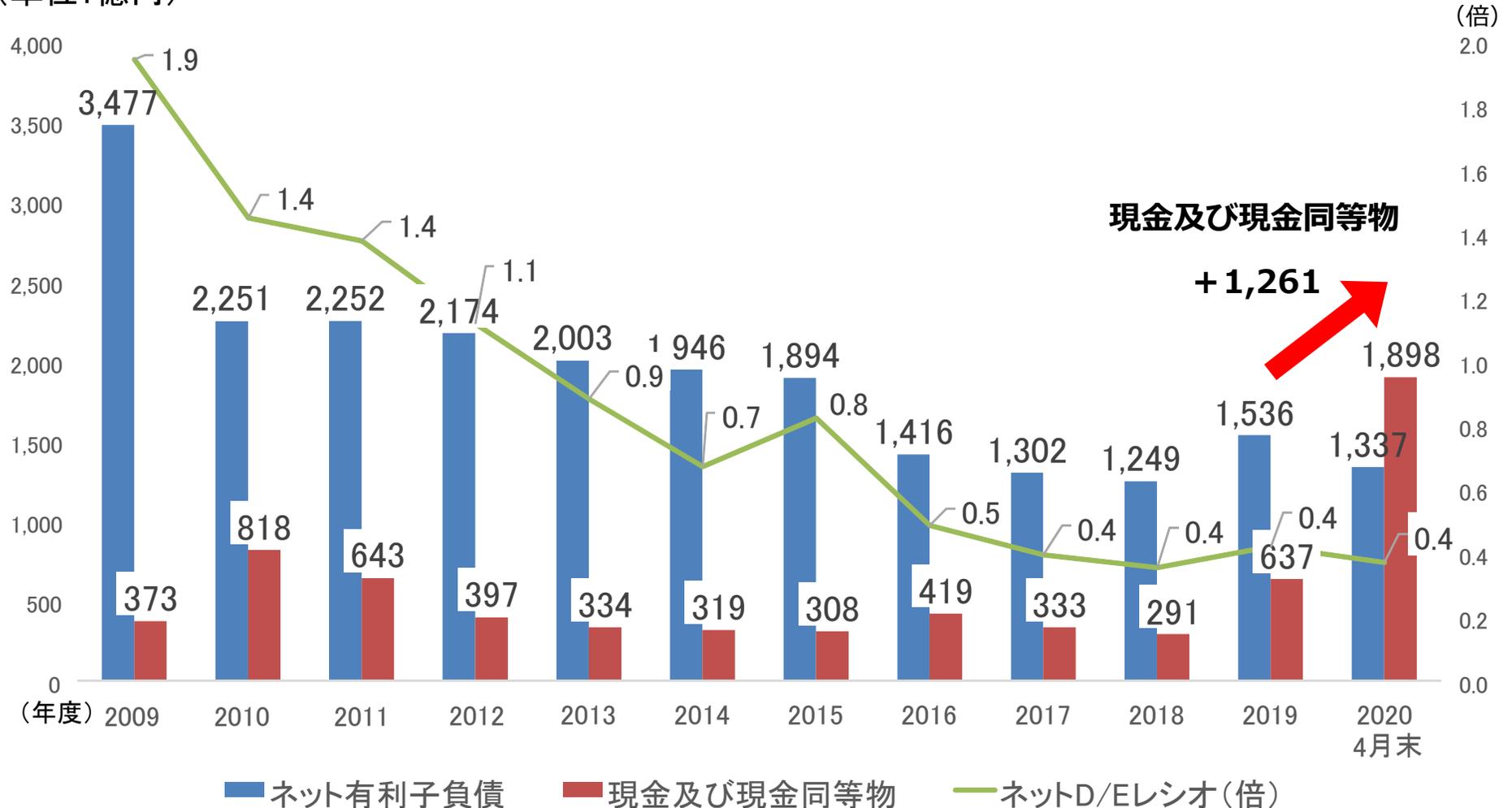


配当性向	18.9%	24.2%	13.6%	25.5%	23.0%	23.3%	19.2%	26.5%	28.4%	<b>39.7%</b>
------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	--------------

※2010年度から2018年度上期まで(株式併合前)は5株当たり配当額

経済環境の悪化に備えて十分な手元流動性を確保

(単位:億円)



# 2019年度第4四半期 連結業績概要(対前年)

(単位:億円)

	2018年度 4Q	2019年度 4Q	増減
売上高	2,927	2,889	-38
営業損益	355	257	-98
経常損益	370	268	-102
親会社株主に帰属する 四半期純損益	239	185	-54

(単位:億円)

	2018年度 4Q		2019年度 4Q		増減	
	売上高	営業損益	売上高	営業損益	売上高	営業損益
パワエレシステム エネルギー	804	90	718	76	-86	-13
パワエレシステム インダストリー	1,097	151	1,131	154	34	4
電子デバイス	335	39	348	8	13	-31
食品流通	319	26	267	7	-51	-18
発電プラント	359	52	403	12	44	-41
その他	163	10	151	10	-12	-1
消去または全社	-150	-13	-130	-10	21	2
合計	2,927	355	2,889	257	-38	-98

### ■低圧インバータ受注高

	4Q対3Q	4Q対前年	年間対前年
全体	-4%	-14%	-14%
国内	11%	2%	-7%
海外	-18%	-27%	-20%

### ■半導体受注高

	4Q対3Q	4Q対前年	年間対前年
全体	-4%	12%	5%
自動車	9%	24%	20%
産業ディスクリート	-6%	0%	-12%
産業モジュール	-12%	7%	2%

1. 本資料は法律に基づく監査手続の対象外であり、本説明会の時点において、法律に基づく財務諸表の監査手続は終了していません。
2. 本資料および本説明会に含まれる予想値および将来の見通しに関する記述・言明は、弊社が現在入手可能な情報による判断および仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性および事業運営や内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、弊社は、将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。
3. 本資料は、情報の提供を目的とするものであり、弊社の株式の売買を勧誘するものではありません。
4. 目的を問わず、本資料を無断で引用または複製することを禁じます。